

王寺町立王寺北幼稚園

取組概要

【効果】今まで総合遊具で遊ぶ子どもが多かったが、ハンモックやテントなどを設置したことで、進んで友達と一緒にハンモックに乗ったり、交代で揺らし合ったりして心地よさを感じていた。またテント前で、周囲の木切れを集めて、キャンプファイヤーをごっこをしたり、テント内に椅子や机をもってきて会話を楽しむ姿がよく見られた。近くにあるビオトープは、子どもたちからきれいにしたいと掃除をすることもあり、その後、カエルやメダカがいなくなか探す様子もあった。自然保育を意識し、園庭を変えてきたことで、子どもだけでなく、保護者からも、「運動場良くなりましたね。」と言われたり、シイタケの榎木を栽培し、シイタケを収穫したりすることなど幼稚園が大切に取り組んでいることを知ってもらえるようになったところである。今後も子どもたちが自然を通してわくわくしたり、自主的に自然と関わろうとしたりする環境を取り入れていきたいと考えている。



【内容】テントの中に入ると、入り口を閉めて、「あたたかいね。」と友達と椅子に座って楽しんだり、テントの前に木切れを集め、キャンプファイヤーごっこをしたりして子どもたちが自然と集まる憩いの場となっている。ハンモックは、ブランコとはまた違うゆったりとした揺れや身体を委ねて全身を任せる心地よさがあり、子どもたちがいろいろな方向に揺らすことも楽しんでいた。また、2人で乗ることができ、異年齢児が関わって遊ぶ姿も見られた。